九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[80] 哲學年報表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/4372030

出版情報：哲學年報. 80, 2021-03-05. Faculty of Humanities, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

後小路　雅弘　教授　定年退職記念特輯

後小路 雅弘　教授

後小路 雅弘　教授　年譜

一九五四年五月二十三日福岡県小倉市（現北九州市小倉北区）生まれ

一九七三年三月　福岡県立門司高等学校卒業
一九七四年四月　九州大学文学部入学
一九七八年三月　九州大学文学部哲学科卒業（美学・美術史専攻）
一九七八年六月　福岡市美術館学芸員
一九九七年四月　福岡市美術館課長（アジア美術館開設担当）
一九九九年一月　福岡アジア美術館学芸課長
二〇〇二年九月　九州大学大学院人文科学研究院教授（芸術学講座）
二〇一〇年四月　九州大学大学院人文科学研究院副研究院長（二〇一二年三月まで）
二〇二〇年三月　九州大学大学院人文科学研究院を定年により退職
二〇二〇年四月　九州大学名誉教授

非常勤講師　福岡大学、九州大学、九州芸術工科大学、学習院大学、山口大学、千葉大学、筑波大学、九州産業大学、韓国・東亜大学校、沖縄県立芸術大学、都留文科大学、大阪大学

業績目録

著書

シャガール　日経ポケット・ギャラリー　日本経済新聞社　一九九三・二

アジアの美術　福岡アジア美術館のコレクションとその活動（共著）美術出版社　一九九九・三

大学とアート〜〈公共性〉の視点から（共著）

九州大学教育研究プログラム・研究拠点プロジェクト報告書二〇〇六−二〇〇七年度　二〇〇八・三

美術の日本近現代史 ── 制度・言説・造型（共著）　東京美術　二〇一四・二

論文

福岡市蓮池善導寺の仏画 ── 当麻曼荼羅（共著）　西日本文化一三二号　西日本文化協会　一九七七・六

たとえばひそやかな夢のありか　藤野一友展　福岡市美術館　一九八二・一〇

自然との新たなかかわりを求めて

明日への造形 ── 九州第三回展　福岡市美術館　一九八三・三

魔霊跋扈す。　西日本文化二一五号　西日本文化協会　一九八五・一〇

明るい不幸　〝フィリピン〟をめぐる切実な問い

アジア現代作家シリーズⅠロベルト・フェレオ展　福岡市美術館　一九八八・一
夢に呪縛されてぼくたちはもう目覚めない
美術史探索学入門　美術館時代が掘り起こした作家たち展　目黒区美術館　一九八八・二
Found Object- ヘンリー・ムーアにおける造形と自然
デアルテ四号　九州芸術学会　一九八八・三
アルカディア考／ピンタドの旅の行方
NIKKEI ART　一九八九・三
「アセアンの現代美術」の困難な旅
物語の棲む杜　アセアンの現代美術展　国際交流基金　一九九〇・二
「空飛ぶアトラージュ」の見えない絵
デアルテ六号　九州芸術学会　一九九〇・三
アラテリスの樹 ―― 地霊のいる場所
アグネス・アレリャーノ展　三菱地所アルティアム／西日本新聞社　一九九〇・九
アジアをめぐる夏　アジアの現代美術
Fukuoka Style 一巻　一九九一・一
まだ書かれていない物語のために
d-ART 通巻五号　一九九一・九
内なるアジアへ
福岡市美術館所蔵によるアジア現代美術展　那覇市文化局文化振興課　一九九一・九
フィリピン現代美術と「物語」 ―― ロベルト・フェレオを中心に
民族芸術八号　一九九二・四
自分探しの迷宮
美術前線北上中！東南アジアのニュー・アート展　福岡市美術館　一九九二・九

Fukuoka Style 五巻

バギオ再訪　一九九二・九

薄明の地平線から
　アジア現代作家シリーズ7　ドルヴァ・ミストリー展　福岡市美術館　一九九四・二

態度としてのリアリズム ── 九〇年代のアジア美術
　第四回アジア美術展　福岡市美術館　一九九四・九

一五年目のアジア美術展　鴻都二二巻　一九九四・一一

九州山口の美術館の現状　デアルテ一二号　九州芸術学会　一九九六・三

ナウィン・ラワンチャイクン　美術手帖　一九九六・八

序説／東南アジア近代美術の誕生
　東南アジア ── 近代美術の誕生展　福岡市美術館　一九九七・五

アジア・コレクションの誕生 ── 福岡市美術館とアジア美術展の二〇年
　アジア美術の新世代展　米子市美術館　一九九七・六

ジョクジャカルタ　都市にすむ夢
　The Mutation インドネシア・リアリズム絵画とその変容展
　インドネシア共和国教育文化省　一九九七・八

屹立於〈芸術〉的辺縁　呂勝中・招魂　広西美術出版社　一九九八

コミュニケーション／コミュニティ／コラボレーション
　第一回福岡トリエンナーレ　福岡アジア美術館　一九九九・三

地域社会に生きるアート／ナウィン・ラワンチャイクン　美術画報二〇号　一九九九・三

アファンディの時代 ―― 紅白旗と絵の職人
近代美術シリーズ1アファンディ展　福岡アジア美術館　一九九九・一一

アジア美術の見方〜福岡アジア美術館のコレクションから
福岡アジア美術館コレクション五〇　福岡アジア美術館　二〇〇〇・三

アジア美術の二一世紀へ向けて ―― アジア美術館と九〇年代のアジア美術
アジア遊学一五号 勉誠出版　二〇〇〇・五

Japanese Influences on Rise of Modern Art in Southeast Asia
“Visions & Enchantment Southeast Asian Paintings”　Singapore Art Museum　二〇〇〇・六

福岡アジア美術館〜交流型美術館とボランティア活動　博物館研究三六巻七号　二〇〇一・七

〈アジア美術館〉というあり方 ―― その意味・方法・システム
立命館言語文化研究一三巻四号　二〇〇二・二

コラボレーションと手わざ ―― 二一世紀初頭のアジア・アート
第二回福岡トリエンナーレ　福岡アジア美術館　二〇〇二・三

美術館を超えて ―― 福岡アジア美術館の挑戦　ＵＲＣ都市科学五四巻　二〇〇三・冬

戦時下の留学生／近代日本とタイの美術交流　美術フォーラム21九号　二〇〇四・一

手の記憶と鎮魂　スリランカの現代美術
ＡＰＣアジア太平洋研究一四号　財団法人アジア太平洋センター　二〇〇四・二

キュビスムと国土　アジアのキュビスム ―― 境界なき対話展　国際交流基金　二〇〇五・八

ベトナム美術の「近代」 ―― 東南アジア的視点から

ベトナム近代絵画展　福岡アジア美術館　二〇〇五・一一
帝国大学のパブリックアート ── 青山熊治「九州大学工学部壁画」　美術研究　二〇〇六・六
Sleepy Taro, or What is an Artist?　Public Art In (ter) vention　二〇〇六
近代におけるタイと日本の美術交流　みてみ☆タイ展　東京都現代美術館　二〇〇七・四
東南アジア近代美術におけるゴーガン受容 ── 国民国家の形成とナショナル・アイデンティティ形成
科研基盤研究A美術に即した文化的・国家的自己同一性の追求・形成の研究 ──
東南アジアから全アジアへ（代表者小川裕充）　二〇〇八・五
昭和前半期の美術　植民地・占領地の美術
昭和期美術展覧会の研究　戦前篇　東京文化財研究所編　二〇〇九・四
昭和一八年の日本旅行 ── ベトナム人画家ルオン・スアン・ニーの日記から
哲学年報六九輯　二〇一〇・三
〈失われた無垢なわたし〉という他者東南アジア美術におけるゴーギャニズム
美術フォーラム21二一号　二〇一〇・五
希望への回路を探して ── 一九九九年の〈もうひとりの女〉
Amanda Heng: Speak to Me, walk with Me, Singapore Art Museum　二〇一二・九
祈りと聖霊
Spiritual Ties : A Tribute to Montien Boonma, Chulalongkorn University Art Center　二〇一三・二
日本軍政と東南アジアの美術　哲学年報七二輯　二〇一三・三
『ジャワ新聞』の美術関連記事 ── 蘭印における日本軍政と〈宣撫工作〉

哲学年報七三輯　二〇一四・三

〈アジア〉の〈女性〉〈美術〉家という存在を巡って

科研基盤研究（A）社会システム〈芸術〉とその変容 ――
現代における視覚文化／美術の理論構築（代表者 長田謙一）　二〇一四・三

アジア美術におけるゴーギャン的なるもの　民族藝術三一巻　二〇一五・四

東南アジアにおける〈美術〉の誕生と日本の戦争
日本美術全集　第18巻　戦争と美術　小学館　二〇一五・四

〈展覧会〉への道程 ―― 序にかえて／青山熊治《九州大学工学部壁画》再訪
九大百年：美術をめぐる物語：一九一一－二〇一六 論集　九州大学総合研究博物館　二〇一六・一〇

The Birth of fine art in Southeast Asia, 1900–1945
Charting Thoughts: Essays on Art in Southeast Asia　National Gallery Singapore　二〇一七・四

〈画家〉の誕生　一九三〇年代日本における金煥基
美術史論壇四六号　韓国美術研究所　二〇一八・六